

令和7年度(2025年度) 第2回 河川工作物AP会議

「サシルイ川治山ダムの効果検証について」

令和8年(2026年)1月27日



北海道

水産林務部林務局治山課
根室振興局林務課

1 現在までの対応状況について

令和4年度

石組みによる魚道及び減勢工の設置、治山ダム本堤及び副堤の放水路断面修正

令和5年度

改良工事の効果検証調査としてサケ科魚類のモニタリング調査を実施

→第1治山ダム上流で確認されたサケの産卵床の割合は、改良前の1/3以下に減少
(カラフトマスの産卵床割合は改良前と同程度の数値。)

令和6年度

サケの遡上が回復するように、石組み魚道及び治山ダムの再改良の実施



1 現在までの対応状況について

令和6年度改良後の状況



2 令和7年度大雨による河川状況等の変化について

○秋季に、記録的な降雨を複数回観測

2025/9/14

111.5mm(24時間) 46.0mm(1時間)

2025/9/21

124.5mm(24時間) 46.5mm(1時間)

2025/11/1

87.5mm(24時間) 14.5mm(1時間)

○9/14,21は

時間雨量で観測史上最大を記録

要素名/順位	1位	2位	3位
日最大1時間降水量(10分間隔)の多い方から (mm)	46.5 (2025/9/21)	46.0 (2025/9/14)	45.0 (2020/10/13)
月最大3時間降水量の多い方から (mm)	97.0 (2025/9/21)	83.0 (2014/8/11)	74.0 (2016/8/21)
月最大6時間降水量の多い方から (mm)	118.0 (2016/7/3)	110.5 (2025/9/21)	109.0 (2014/8/11)
月最大12時間降水量の多い方から (mm)	145.0 (2009/6/23)	134.5 (2016/7/3)	130.5 (2014/8/11)
月最大24時間降水量の多い方から (mm)	184.0 (2016/9/9)	162.5 (2016/8/21)	149.0 (2009/6/24)
月最大48時間降水量の多い方から (mm)	219.5 (2016/8/22)	186.5 (2016/9/10)	171.5 (2014/5/18)
月最大72時間降水量の多い方から (mm)	289.5 (2016/8/23)	198.5 (2014/5/19)	193.5 (2016/9/9)

2 令和7年度大雨による河川状況等の変化について

撮影年月日:令和7年7月25日



○河床変動について

9月からの度重なる豪雨により、河川上流部において堆積した土砂が治山ダムの下流に土砂が堆積。

増水状況



撮影年月日:令和7年9月14日



撮影年月日:令和7年11月18日

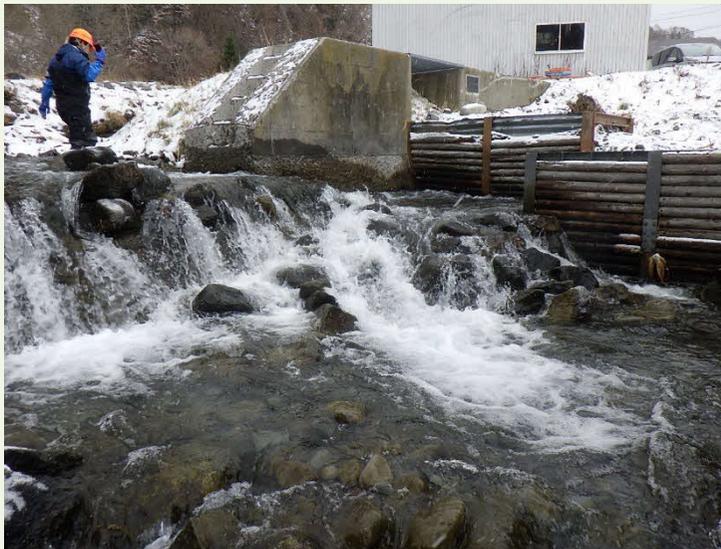
2 令和7年度大雨による河川状況等の変化について

○折り返しプール部の土砂堆積



3 令和7年度 石組追加状況

大雨による河川状況の変化をふまえて令和7年11月17日に石組の追加を行った。



4 令和7年度モニタリング調査結果

モニタリング調査期間: 令和7年9月下旬から12月上旬

○カラフトマス

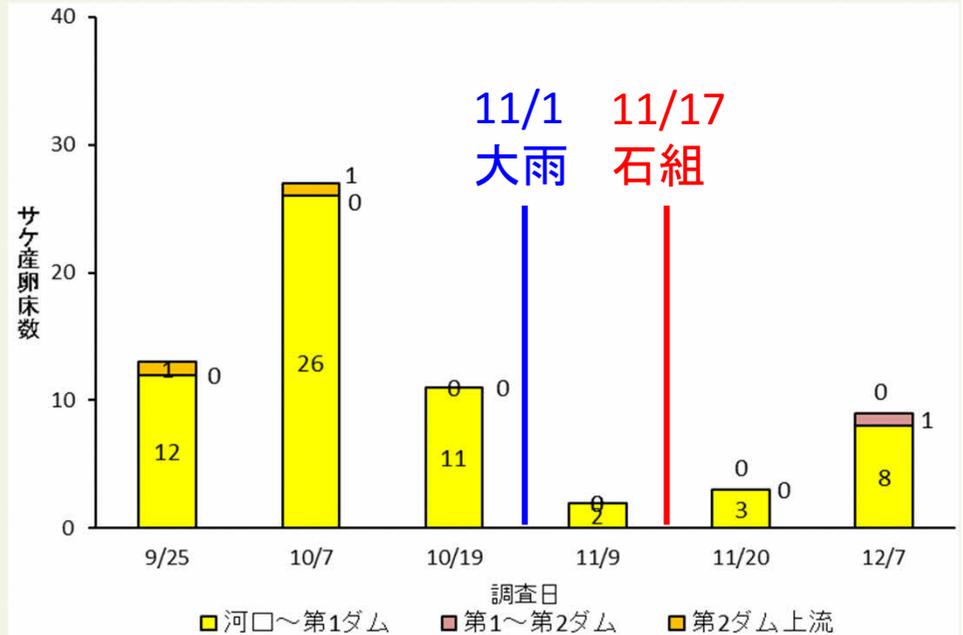
調査日全てで親魚および産卵床を確認することはできなかった

○サケ

調査日全てで産卵床を確認した

《各ダム区間における調査結果》

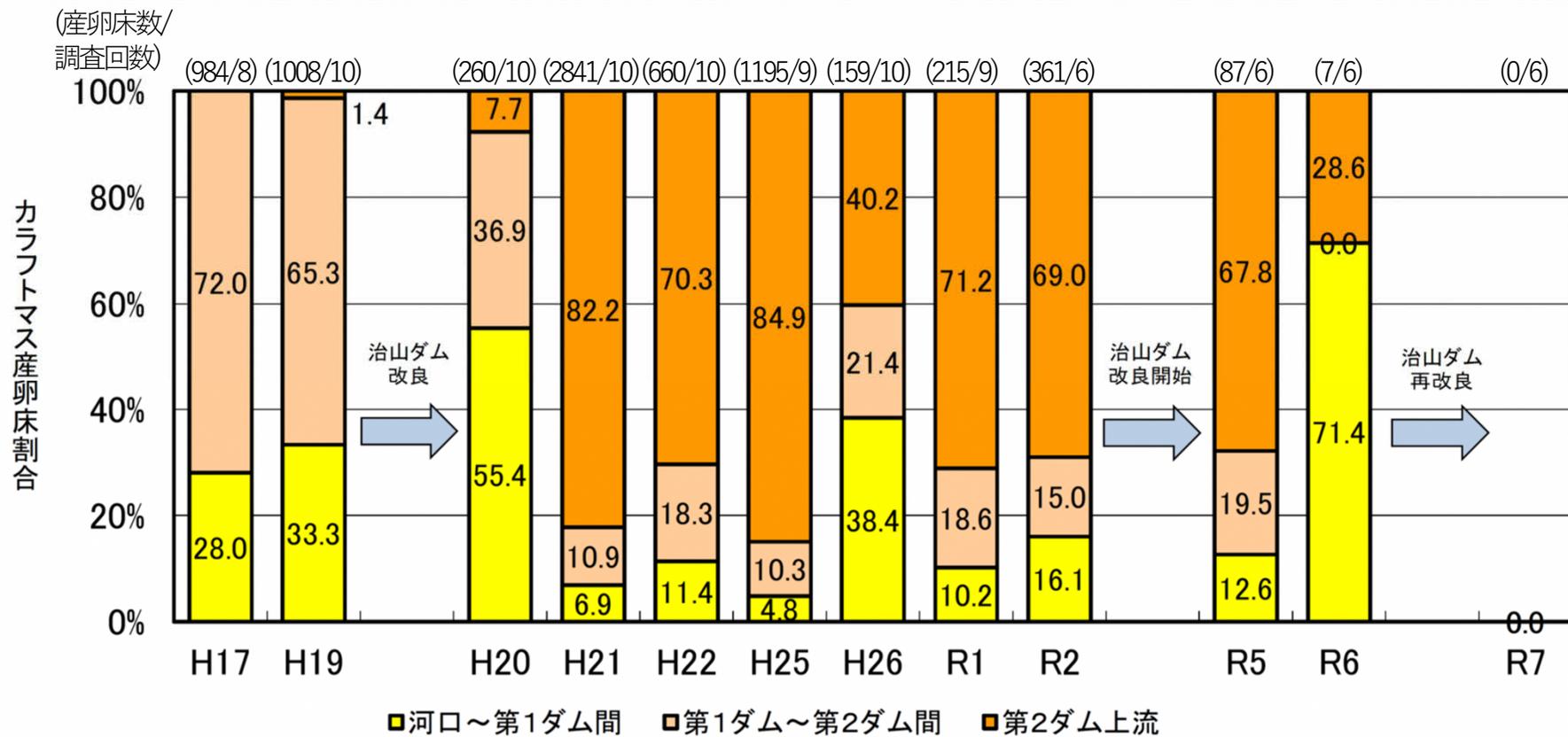
調査回数	①第1ダム 上流	②全区間	①/②の 割合
1回目	1 床	12 床	8.3%
2回目	1 床	26 床	3.8%
3回目	0 床	11 床	0.0%
4回目	0 床	2 床	0.0%
5回目	0 床	3 床	0.0%
6回目	1 床	8 床	12.5%



5 モニタリング調査結果の過去との比較(カラフトマス)

○産卵床割合(第1ダム上流)

「H20～R02」:89.2% 「R05～R06」:57.9% 「R07」:0.0%



※産卵床数は、調査時期、調査回数にバラツキがある数値である

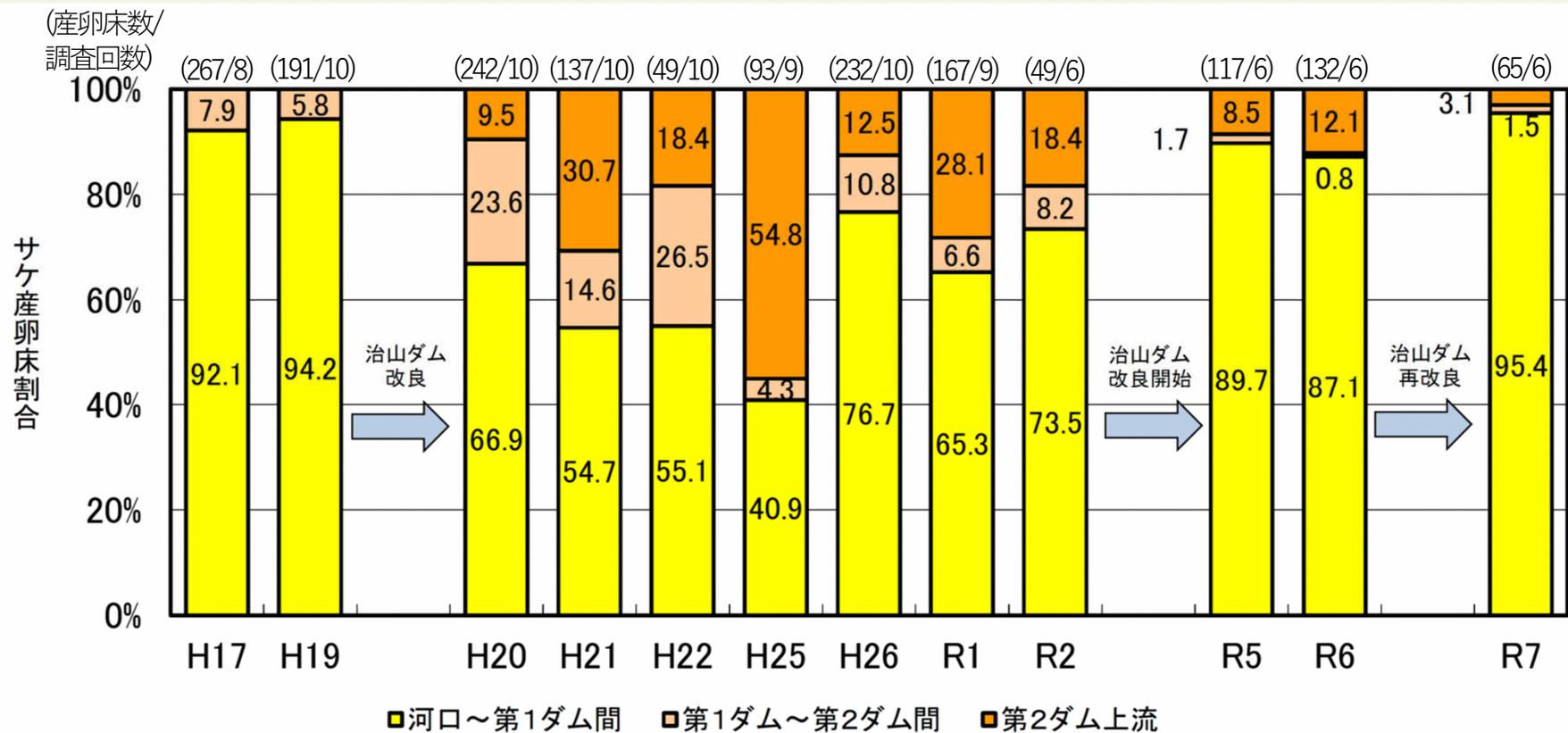
5 モニタリング調査結果の過去との比較(サケ)

○産卵床割合(第1ダム上流)

「H20～R02」:35.5%

「R05～R06」:11.5%

「R07」:4.6%



※産卵床数は、調査時期、調査回数にバラツキがある数値である

6 まとめ

○魚道の土砂閉塞

9月、11月の大雨に伴う増水により、河床変動及び折り返し部分プールへの土砂堆積が確認された。

○カラフトマス

知床半島の他の河川においてもほとんど遡上が確認されず、遡上効果を検証することが困難であると判断。

○サケ

9月、11月の大雨に伴う増水により産卵床が流出、埋没し、第1ダム上流で確認された産卵床の割合は4.6%となった。